

変化の著しい社会情勢の中、市民ニーズに的確に対応するためには、成果やスピード、コストを重視しながら、市民とともに歩む自治体運営が求められています。

行財政改革

行財政改革については、職員一人一人が使命感と目的意識を持ち、市民本位の成果を重視した行政経営を基本方針として、実施プランを着実に進め、健全でより強固な行財政基盤の確立に努めてまいります。

また、多様化する市民ニーズに対応できる行政を目指して、専門知識や多彩な知恵を外部から取り入れながら『行政力』の向上に努めてまいります。

予算編成に当たっては、今後の人件費や公債費などの主要な経費の動きなどを判断し、『**まちの元気回復を図ること**』を基本としております。厳しい財政状況下では、保守的な考え方になりがちですが、当市の輝かしい未来を創造する歩みを止めるわけにはいきません。

このような時こそ、臆することなく、チャレンジ精神を持ち、将来のまちづくりに向けた着実な一歩を踏み出すことが肝要であるとの思いを込めて予算編成を行いました。

財政運営においては、歳入の確保も重要となっております。

市税等徴収については、納期内納入の徹底や新たな滞納発生の防止な

どの取り組みを引き続き進めるとともに、滞納整理については、北海道や近隣市町との連携を強め厳正に当たることとし、また、新たな広域連携について調査・検討を進めるなど、体制の強化を図り、貴重な自主財源の確保に努めてまいります。

また、市税以外の徴収金につきましても同様に取り組んでまいりますとともに、債権管理における事務処理のさらなる適正化について調査・研究してまいります。

なお、徴収担当部署の横断的な連携を強め、収納体制の強化を図ってまいります。

情報共有と市民対話

市民の皆さんとまちづくりを進めていくためには、さまざまな情報を共有しながら、対話を重ねていくことが大切だと考えます。そのためにも正確な情報開示、スピード感ある情報提供と情報収集に努めてまいります。

情報提供については、行政情報や魅力ある観光情報などの情報を、懇談会などの直接対話の場や、市の広報、ホームページ、各種メディア・マスコミ、新たに運用開始する西いぶり生活情報メール配信システムなどを活用してタイムリーに分かりやすく提供してまいります。

市民の皆さんとの対話については、市民の皆さんに市政をより身近なものとするために大切なものと考えて

おります。

各種懇談会や意見交換会、まちづくりやまちの活性化について、市民の皆さんと直接膝を交えて話し合えることは、『担い合うまちづくり』を進める上で大切な機会であり、これまで以上に積極的に取り組み、地域の課題やまちづくりの方向性を捉えてまいります。

他市町村との広域連携

広域連携については、大きな進展を迎えようとしています。

昨年は、室蘭市と定住自立圏の形成に関する協定を締結し、西胆振3市3町が室蘭市を中心市として連携する『西いぶり定住自立圏』を形成しました。この連携により、高度なサービスへの取り組みが可能となり、都市機能の充実を図るなど、魅力的な圏域をつくることが可能であると思えますので、今後も、参加している3市3町で協議を重ねながら事業を推進してまいります。

登別市・白石市・海老名市の都市間交流については、今春、3都市間での『トライアングル交流宣言』を行います。

姉妹都市という枠を広げ、有事の際の援助協力はもとより、より一層の市民交流を深めてまいります。

おわりに

私は、これからのまちづくりにお

いて、

『広域連携』や『トライアングル交流』、『海外の友好都市との交流』など、自治体同士の結びつき

私どもと『市民の皆さん』、『市内で活動されている団体の皆さん』との結びつき

『市民の皆さん同士』、『市民団体同士』の結びつき

『市民力』と『行政力』の結びつき

これらの『結びつき』を大切にし、市民の皆さんと行政がこれまで培った知識や経験、人脈やネットワークをさらに強固に結びつけることで、人材を育み、活かし、飛躍する『地域力』を高め、新しい希望へと飛躍できることを切に願い、結びの文字を使いこの1年を

と位置付け、輝く登別
結の年のまちづくりに向けて
まい進してまいります。

以上、平成23年度の市政執行の基本的事項について申し上げますが、議員の皆さん市民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。私の市政執行方針いたします。